

日本水素エネルギー産業会議 第8回会議 プラグインハイブリッド自動車の動向 -

日時 2008年3月10日(月) 9:30-12:30

会場 東京工業大学 大岡山キャンパス 百年記念館(3階 フェライト会議室)

【主催】日本水素エネルギー産業会議

【内容(予定)】

◆開会あいさつ

平田 賢 氏 (東京大学名誉教授、JHIF会長)

◆講演1 「青森県の新たな取り組み

-プラグインハイブリッド車を核とした地域エネルギー構想-

青森県 エネルギー総合対策局 副参事 高坂 幹 氏

◆講演2 「フランス電力のプラグインハイブリッド自動車及び電気自動車への取り組み」

フランス電力 日本・韓国地域総代表 イゴール・ツェルニー氏

◆講演3 「サステイナブルモビリティへ向けたトヨタの対応」

トヨタ自動車㈱ 東京技術部 環境グループ長・担当部長 田坂 一美 氏

◆分科会活動のご紹介

「JHIF地域エネルギー供給構想検討分科会の活動のご紹介」

堀 雅夫 氏 (地域エネルギー供給構想検討分科会 座長)

◆閉会あいさつ

笠木 伸英 氏 (東京大学大学院 工学系研究科 教授)

国内外の自動車メーカーによるプラグインハイブリッド自動車、電気自動車の開発方針が発表される中で、充電ステーションの設置や運用といったインフラ整備を含めた地域社会の取り組みが注目されています。

中でも、フランス国内では本年(2008年中に)国営郵便局が500台の電気自動車導入を決定し、フランス電力(EDF)がプラグインハイブリッド自動車も想定しつつ、インフラ整備に着手しています。また、イギリス国内にもEDFが充電ステーション(250箇所)の設置を計画すると共に、最近になって日本のトヨタ自動車とプラグインハイブリッド自動車向けの充電ステーションにつき、共同開発を進めるとの方針が発表されました。本会議において、フランス電力の日本・韓国地域総代表より本社担当部の動きにつき報告いただきます。

また、国内の自治体の中では先陣を切って青森県がプラグインハイブリッド自動車、電気自動車の地域率先導入構想を策定しました。青森県の構想は原子力発電、新エネルギーによる「地産」の電力を積極的に地域内で利用推進「地消」を図りつつ、運輸部門の炭酸ガスを大幅に削減し得るモデルとして注目を浴びております。このような青森県の構想、今後の取り組みにつき発表いたします。

最後に、今、最も注目されるトヨタ自動車におけるプラグインハイブリッド自動車・エタノール自動車など次世代低公害車の開発戦略並びに展望などについてお話し頂く予定にしております。特に、トヨタ自動車のプラグインハイブリッドコンセプトは米国の自動車会社との違いが明確になり、その動向が注目されています。

会議参加費

JHIF 会員は無料

非会員はお一人様 30,000 円（銀行振り込み又は当日現金払い）

お申込方法

参加を希望される方は、FAX 又はメールでお申込み下さい。FAX でのお申し込みは、下記申込書にご記入の上、お送り下さい。

メールで申し込みをされる方は、「3月10日第8回会議参加希望」として、下記項目を明記の上、事務局（info@ueri.co.jp）までお送り下さい。

- ・貴団体名（フリガナ）
- ・部署・役職名
- ・参加者名（フリガナ）
- ・電話、FAX
- ・email アドレス

申込締切日

平成 20 年 3 月 6 日(木)

振込先

三菱東京 UFJ 銀行 本店
普通 0366956
名義：日本水素エネルギー会議

連絡先

日本水素エネルギー産業会議事務局
担当：田島、澤邊
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-3-20
仙石山アネックス 4F
（株）ユニバーサルエネルギー研究所内
TEL：03-5408-1118 FAX：035408-0058
Email: info@ueri.co.jp



会場案内

東京工業大学 百年記念館
（正門入りすぐ右側の建物）
3F フェライト会議室
東京都目黒区大岡山 2-12-1

最寄り駅 

東急目黒線・大井町線 大岡山駅下車 徒歩1分

JHIF 日本水素エネルギー産業会議 第8回会議

日本水素エネルギー産業会議事務局行 FAX：03-5408-0058

会員・非会員（ご招待）・非会員（一般）（いずれかに お付け下さい）

→ お支払い方法（銀行振り込み・当日現金払い）

（フリガナ）			
貴団体名			
部署・役職			
申込者氏名	E-mail		
TEL	FAX		

複数名お申込される場合、本申込書をコピーしてお使い下さい。